

平成 22 年度第 3 回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

【開催概要】

開催日時：平成 22 年 11 月 9 日（火）13 時 30 分～15 時 45 分

開催場所：長野市職員会館 3 階 大会議室

【次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 環境部長あいさつ
- 4 前回の議事録確認
- 5 議 事
 - (1) 一般廃棄物処理基本計画（素案）について
 - ア 専門部会における審議結果報告
 - イ 基本計画（素案）について
 - ウ 市民意見の募集（パブリックコメント）について
 - (2) し尿処理手数料の改定方針について
- 6 その他
- 7 閉 会

【会議資料】

平成 22 年度第 2 回長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録（要旨）

資料 1 一般廃棄物処理基本計画策定等専門部会における審議経過及び計画素案報告について

資料 2 長野市一般廃棄物処理基本計画（素案）

資料 3 長野市一般廃棄物処理基本計画（素案）に対する市民意見等の募集について

資料 4 し尿処理手数料の改定方針について

【出席委員】 12 名

【欠席委員】 2 名

【事務局】 14 名

【会議の内容等】

1 開 会

会議の成立と公開について報告（事務局）

2 会長あいさつ

本年度 3 回目の審議会になるが、お集まりいただき、感謝申し上げます。

本日は、前回中間報告のあった一般廃棄物処理基本計画について、審議会として素案を決定していきたいので、よろしく願います。（会長）

3 環境部長あいさつ

ご出席いただき感謝申し上げます。

一般廃棄物処理基本計画の素案については、委員の皆さんからご意見をいただき、素案としておまとめいただきたい。また、し尿処理手数料の改定方針についてもご説明させていただく。（環境部長）

4 前回の議事録確認

第2回審議会の議事録（要旨）の確認が行われ、訂正箇所なしで承認された。

5 議 事

(1) 一般廃棄物処理基本計画（素案）について

ア 専門部会における審議結果報告

「資料1 一般廃棄物処理基本計画策定等専門部会における審議経過及び計画素案報告について」により報告。（部会長）

イ 基本計画（素案）について

「資料2 長野市一般廃棄物処理基本計画（素案）」により説明。（事務局）

「ア」の審議結果報告も含め、ご質問、ご意見をお出しいただきたい。（会長）

「長野市バイオマスタウン構想」について具体的に教えていただきたい。また、市役所としてのごみの減量のための取組と、機密文書の処理方法について教えていただきたい。（委員）

我々が社会生活、企業活動、家庭生活などを営んでいく上で使用するエネルギーのうち、一番多く使われているのは化石燃料である。一方、地球温暖化の観点では、温暖化の要因となる石油資源に由来するエネルギーを減らしていくことが大きな問題となっている。石油エネルギーの代替手段の一つがバイオマスエネルギーであり、例えば間伐材や、家庭や事業所から出る生ごみもバイオマスエネルギーの一つである。「バイオマスタウン構想」とは、長野市全体、あるいは地域全体で取り組んでいきたいと思いますという計画である。長野市バイオマスタウン構想は、本年3月末に農林水産省で認められているが、全国的にはまだ少数である。

市役所としてのごみの減量の取組としては、長野市役所環境保全率先実行計画という計画に基づき取り組んでいる。電気の使用量、公用車によるガソリン使用量、ごみの発生量などの削減目標を立てて、その目標に向かって全庁的に取り組んでいる。

市役所の機密文書については、年に4～5回程度に分けて処理をしている。県外の処理業者に搬入し、焼却ではなく、溶解処理（資源化処理）をしている。市内の事業所でも同じような処理ができれば、ごみの減量、紙資源の再資源化に有効であると考えている。（事務局）

市民の役割について記載しているが、どのように説明をしていくのか。（会長）

今回の計画では、市民・事業者の役割を具体的に明記をしながら循環型社会を目指していくということである。周知・啓発方法としては、地区への説明会などで、具体的な取組例も含めて周知しながら、協働して進めていきたい。その他、広報やごみ通信などの媒体を活用して啓発を図っていきたい。（事務局）

58ページの「1.2.4 住民自治協議会・ながの環境パートナーシップ会議等との連携強化」の説明文の中に、「NPO」や「市民活動団体」についても明文化していただきたい。ながの環境パートナーシップ会議に参加していないNPOや団体等でも取組をしている。（委員）

「住民自治協議会（環境担当部会）や自治会等」を「住民自治協議会（環境担当部会）や自治会、NPO、市民活動団体等」に修正するかたちでいかがか。（事務局）

別途、その都度、具体的な実施計画のところでも位置付けていただきたい。（委員）

毎年の実施計画で具体的な計画として位置付けていく。この計画では、この表現でいかが。（事務局）

明文化されていけば、市民がやりやすい、参加しやすいかたちになると思う。やる気が起きるような参加形態としてほしい。（委員）

同様に、58ページの「1.2.3 容器包装削減のための啓発」の説明文でも、「環境パートナーシップ会議等」とあるが、ここはどうしたらよいか。（事務局）

ここにも団体なども含めていただきたい。（委員）

「ゴミ通信」の第1号が先日配布された。パートナーシップ会議などの取組も紹介したらどうか。この紙の色は、号によって変えていくのか。（委員）

予算の範囲内で変更が可能である。基本的な紙面の構成としては、一面は、行政的な記事

を、二面は、市民・団体・事業者の活動や取組についてピックアップして紹介していきたい。市民の皆さんと一緒に新聞づくりをポリシーにしていきたい。(事務局)

30 ページの決算額の内訳で、歳出には、間接費はこれに入っているのか。現場の職員の給与が含まれているのか。(委員)

本庁に勤務する職員と清掃センターに勤務する職員の分を含んでいる。(事務局)

66 ページの基本方針3で、「3.1.2 高齢者等に対する収集体制の検討」とあるが、今現在もごみ集積所までのごみ出しが困難であるという問題に直面している。ここには、「戸別収集等の新たな収集方法も含め調査、検討を行います」と書いてあり、非常に関心をもって見た。戸別収集の見通しとしてはいつ頃を予定しているのか。(委員)

これから人口が減っていく中で、一人暮らしの高齢者の世帯は増えていくと言われている。地域の皆さんと連携してどのように取り組んでいくかが一番重要であると考えている。最終的には戸別収集をどうしていくかということである。全国的には、既の実施している自治体もあるが、一時的ではなく、継続的な体制づくりを検討していく必要がある。今のところ、具体的に何年度からという見通しは答えできないが、早く着手し、検討していく。(事務局)

他にご意見がなければ、審議会として、この基本計画の素案を決定したい。計画をご覧いただき、今お出しいただいた意見も含め、修正・追加すべき箇所があったらお出しいただきたい。(会長)

先ほどの58ページの説明文の修正はよいか。(副会長)

先ほどは、58ページの「1.2.4 住民自治協議会・ながの環境パートナーシップ会議等との連携強化」の説明文中、「住民自治協議会(環境担当部会)や自治会等と連携し」を「住民自治協議会(環境担当部会)や自治会、NPO、市民活動団体等と連携し」という文章に改めたらいかかというお話であった。その前の「1.2.3 容器包装類削減のための啓発」のところの文章については、どうするか決まっていなかった。(事務局)

1.2.3についても、消費者団体というかたちで現に参加されていることから、同様に修正していただいた方がよいと思う。(副会長)

1.2.4については、説明文の2～3行目にも、「生ごみや容器包装類削減については、ながの環境パートナーシップ会議との連携を強化し」とあるが、この部分はいかがか。(事務局)

こちら(2～3行目の文章)に入れた方がよいかも。(委員)

そのように修正(追加)するというのでよいか。(事務局)

1行目、2～3行目の両方にかかるように修正することはできるか。(委員)

長くなってしまいが、1.2.4の題名そのものを修正するかどうか。(事務局)

この部分の修正は事務局にお任せをしてよいか。(会長)

できれば、1.2.4の題名はそのままにして、文末の「ながの環境パートナーシップ会議」の後に、NPO云々という言葉を入れれば、説明としてはもれがないかたちになると思うが、いかがか。(事務局)

文章の前段で地域のことを言って、後段で団体や市民活動について言っているということになる。題名の部分では「等」にNPOや団体などを含ませるということで解釈すればよいと思う。(委員)

修正した全体の文章をはっきりさせてほしい。(会長)

1.2.4の文末のところを、「ながの環境パートナーシップ会議やNPO団体」と修正させていただく。(事務局)

「NPOや市民活動団体」である。(委員)

「NPO」の他に、「市民活動団体」も入れるということによいか。「ながの環境パートナーシップ会議、NPO、市民活動団体等」という文章によいか。(事務局)

そのようにお願いしたい。(委員)

そのように修正をお願いする。その他にあるか。(会長)

1.2.3の文章も同様に修正をお願いしたい。(委員)

「1.2.3 容器包装類削減のための啓発」の一番下、「ながの環境パートナーシップ会議等」を先ほどと同様に「ながの環境パートナーシップ会議、NPO、市民活動団体等」と修正するというのでよいか。(事務局)

そのようにお願いしたい。(委員)

その他に修正箇所がなければ、ただ今の部分を修正いただいた上で、基本計画の素案として決定してよいか。(会長)

それでは、審議会として素案を決定させていただく。については、審議会から市長あてに文書で報告をするというかたちをとりたい。文書について事務局で説明をお願いする。(会長)

報告書(案)について説明 (事務局)

これだけの短い文章なので、これでよいか。(会長)

「はい」という声あり。

この文章で報告するので、ご承知おきいただきたい。(会長)

先ほど、「ゴミ通信」の紙の色について話があったが、今回の色だと見づらいと思う。青系の色の方が、はっきり分かれると思うがいかがか。(委員)

今回の黄系の色に決めているわけではない。今後発行する中で検討していきたい。(事務局)

年間の発行回数は決まっているのか。(委員)

予算上、年2回程度である。(事務局)

紙面の余白へ「再生紙」の表示はしないのか。(委員)

次回の参考にさせていただきたい。(事務局)

環境に配慮したインクの使用などはどうか。高上がりになるかもしれない。(委員)

今回は、広報に折込をした関係上、広報と同じ紙色だと目立ちにくいということもあり、色紙を使用した。今後は、広報への折込が難しい事情もあり、配布方法についても検討中である。(事務局)

「ゴミ通信」の発想はとてもよい。年何回と決めなくてもいいから、重点的なことを載せていただくとよい。広報ながのに記事を載せても、あまり読まずに素通りされてしまう。今後もよろしくお願いしたい。(委員)

ウ 市民意見の募集(パブリックコメント)について

「資料3 長野市一般廃棄物処理基本計画(素案)に対する市民意見等の募集について」により説明。(事務局)

この基本計画の素案に対する市民の意見を募集したいということだが、そのように進めてもよいか。では、審議会としても意見募集を実施するというように決める。(会長)

所定の意見用紙とはどんなものか。(委員)

住所や氏名を記入の上、素案に対するご意見をご記入いただく用紙である。(事務局)

住所や氏名については、匿名でもよいか。(委員)

基本的には、住所、氏名や連絡先は必ず記入していただく。意見募集後、意見に対する市の考え方を取りまとめ、公表していく。(事務局)

(2) し尿処理手数料の改定方針について

「資料4 し尿処理手数料の改定方針について」により説明。(事務局)

答申の際に、市長も心配していた。これはやむを得ないと思うが、この件でご意見があればお出しいただきたい。

し尿処理手数料の改定はこのように進めてもらうこととしたいので、ご承知おきいただきたい。(会長)

6 その他

次回の第4回審議会は、平成23年2月24日(木)午後を予定したい。審議内容は、市民意見の募集結果、基本計画(案)の審議・決定(答申)、平成22年度実施状況報告ほかの審議を予定している。(事務局)

本日の議事録は、事務局でまとめたものを次回の審議会でお配りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。(事務局)

7 閉会

(15時45分閉会)